

6月号 ボランティアだより

2021

No187



発行 社会福祉法人 甲州市社会福祉協議会
甲州市勝沼町休息1867-2
TEL44-2612 FAX44-3035
編集 ボランティアだより編集委員会

ボランティア活動紹介

学校でもない・家でもない ~子どもの居場所「あ・い・る」~



子ども居場所「あ・い・る」【外観・内観】↑

高校に勤めていた時、学校に来られなくなって、通信制高校に転校していった生徒がいた。その後どうしているだろうか。学校を離れることで、社会から離れることになりはしないか…。

心に気掛かりの塊がふくらんで、退職を機に学校でも家でもない、第三の居場所を作ろうと立ち上げたのが始まり。

2019年、塩山の駅前で、テーブルと椅子のある小さな部屋。「誰が来てもいいよ」という子どもの居場所を始めた。小学生が寄って学校の宿題をしていくことも。

2021年1月。勝沼町下岩崎に築百年の広い古民家を借りることができた。

庭の周りにぶどう畑。四季を感じさせる花々の香りの中で、ゲーム・おしゃべり・絵を描く…何でもOK。宿題・受験勉強・読書も。

「学校に行くのがつらい時、ひとりぼっちで寂しい時、小さな島 (isle アイル) に身を寄せてじっとしているのもいいんだよ」との思い。不登校の子どもが、一歩でも家から出て自由に過ごす場があれば…。

「様々な不安を抱えている子どもたちと、【ななめ】の関係で繋がりたい」と語る佐藤浩美さん。

このような場所を利用してみたい人、お手伝いしたい人、興味のある人、一度訪ねてみてください。

「あ・い・る」の約束↓

- 1 子どもも大人も対象
- 2 何でも話し合って決める
- 3 家だら、初めに自分で決めた場所も、10分おとうじ



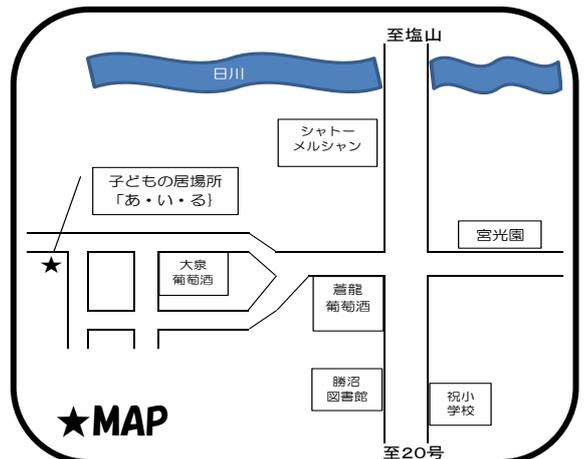
↑代表の
佐藤さん



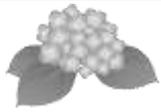
★Information

場所：甲州市勝沼町下岩崎156
甲斐のまがり家 GLAPESVILLAGE
日時：毎週木曜日13:00~17:00
いつもいる人：佐藤浩美 (元高校教員)
連絡先：090-6479-4842
e-mail：ibasyoairu0@gmail.com

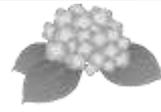
※ご来訪の際は、連絡の上勝沼図書館裏側駐車場に車を止めて徒歩にて。



ボランティアだよりの費用は県共同募金会の配分金の一部を充てています。



6月の定例活動



車イスダンス【車イスダンスの会】	5日	午前9:30~	中央区民会館
点字勉強会【コスモスの会】	3日・17日	午後1:30~	ボランティア事務所
いきいきサロン【すみれ会】	21日	午後1:30~	中央区民会館
朗読勉強会【やまびこ会】	23日	午後1:30~	ボランティア事務所
手作り作業【つみくさ会】	10日・24日	午前中	ボランティア事務所
声の広報	【かつめまボランティア会】		勝沼健康福祉センター
ひとり暮らし高齢者テレホンサービス	月~金曜日		勝沼健康福祉センター
ボランティア相談窓口	22日	午後1:30~	ボランティア事務所
ボランティアだより【編集委員会】	4日・16日		ボランティア事務所



令和3年度 甲州市ボランティア連絡協議会定期総会開催

5月13日(木)午後2時より、ボランティア連絡協議会事務所において、令和3年度甲州市ボランティア連絡協議会定期総会が開催されました。

コロナ禍にあって、ボランティア活動に制約も出てきていますが、市内のボランティアの機運を高められるように様々な事業を計画しています。今年度も活動へのご理解・ご協力をお願いいたします。

また、ボランティア連絡協議会の活動に賛同し、加入を希望されるボランティアグループがありましたら、社会福祉協議会事務局までご連絡ください。

令和3・4年度役員

会長：天野 つね子 (コスモスの会)
 副会長：中村 道子 (編集委員会)
 富山 静穂 (育児ボランティア・かつめま)
 監事：成澤 栄子 (すみれ会)
 古屋 親子 (やまとなでしこ会)

事業計画

- ① 役員会の開催
- ② 定期総会の開催
- ③ 代表者会議の開催
- ④ 視察研修・研修会の開催
- ⑤ ボランティアふれあいまつりの開催
2月のボランティア推進月間にボランティアの普及啓発・参加促進及び情報提供を目的に開催する
- ⑥ 甲州市及び甲州市社会福祉協議会事業への協力
 - ・こうしゅう福祉まつりへの参加
 - ・フードドライブ事業への協力
 - ・災害ボランティアセンター設置運営訓練への参加

甲州市ボランティア連絡協議会に関するお問い合わせ★事務局(甲州市社会福祉協議会内) ☎44-2612

掲 示 版

家庭から出る衣類の66%は焼却され、コロナ禍で衣類の回収はストップの今。縫ったり別の物に作り変えて使うことで、地球は守れるという。

大量生産・大量販売・大量廃棄の衣類産業は、CO₂排出量第2位。捨てる前に出来る小さなことから始め、適量購入に努めたい (里吉)



ボランティア川柳

夜泣きの子新まいパの育児休

田邊 国代